



藤田嗣治《秋田の行事》1937年 油彩・キャンバス 365×2050cm 公益財団法人平野政吉美術財団蔵

© Fondation Foujita / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2021 E4039

企画展 平野政吉コレクション 花鳥図を中心に 会期: -5月9日(日) 企画展 藤田嗣治 秋田で見た建築と風景 会期: 5月15日(土) - 7月4日(日) 特別展 怖い浮世絵展 会期: 7月10日(土) - 9月5日(日) 県民ギャラリー特別展 MINIATURE LIFE展 ~田中達也 見立ての世界~ 会期: 7月16日(金) - 8月29日(日)

2021 4							5							6							7							8							9																											
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat																					
				1	2	3						1				1	2	3	4	5							1	2	3				1	2	3	4	5	6	7								1	2	3	4												
4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11	11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
18	19	20	21	22	23	24	9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	19	20	21	22	23	24	25	12	13	14	15	16	17	18														
25	26	27	28	29	30	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25	19	20	21	22	23	24	25															
							23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30	25	26	27	28	29	30	31	29	30	31	22	23	24	25	26	27	28	26	27	28	29	30																							
							30	31																																																						

10							11							12							2022 1							2							3																			
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat													
					1	2							1								1	2	3	4							1							1	2	3	4	5								1	2	3	4	5
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12						
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19						
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26						
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30	26	27	28	29	30	31	23	24	25	26	27	28	29	23	24	25	26	27	28	29	27	28	27	28	29	30	31																		
31																				30	31																																	

※白地に数字の部分は休館日

特別展 秋田県誕生150年記念 ルーヴル美術館の銅版画展 会期: 9月11日(土) - 11月7日(日) 特別展 生誕120年 木村伊兵衛回顧展 会期: 11月13日(土) - 1月23日(日) 企画展 平野政吉コレクション 旅と絵画 会期: 1月29日(土) - 4月3日(日) (予定)

利用案内 Information 開館時間 午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)

観覧料 展覧会ごとに異なります。各展覧会チラシ、秋田県立美術館ホームページでお知らせします。

休館日 不定休 ※展示替え、メンテナンス等の休館があります。

年間パスポート 一般: 2,500円 大学生: 1,700円 発行日から1年間、何度でもご利用いただけるパスポートを発行しています。秋田県立美術館が主催、共催する展覧会でご利用いただけますが、対象外となる展覧会もありますので、ご確認ください。

平野政吉コレクション
秋田県立美術館
AKITA MUSEUM OF ART
〒010-0001 秋田県秋田市中通1丁目4-2
TEL 018-853-8686 FAX 018-836-0877
http://www.akita-museum-of-art.jp

企画展

藤田嗣治
秋田で見た建築と風景
5/15(土) — 7/4(日)

1930年代に秋田を訪れた藤田嗣治の足跡を辿り、藤田ゆかりの建築や眺めたであろう風景、旅先で描いた作品、そして、秋田で夢みた建築である「まほろしの美術館」についての資料を展示します。あわせて、現存するもの、すでに失われたものを含め、藤田が関心を寄せた景観を写真などで紹介するとともに、秋田で取り組まれている新しいプロジェクトについても紹介します。日本の地方に目を向けていた藤田が惹きつけられた「郷土の素朴さ、清く澄み透す人々の心」という秋田の根源的な魅力に迫ります。

協力 込山 敦司/秋田県立大学 システム科学技術学部
建築環境システム学科 准教授
小杉 栄次郎/秋田公立美術大学 美術学部 美術学科 教授



まほろしの美術館 再現模型 一縮尺100分の1—
制作：秋田県立大学システム科学技術学部建築環境システム学科 込山 敦司

特別展

怖い浮世絵展
7/10(土) — 9/5(日)

江戸時代の終わり頃に巻き起こったオカルトブーム。夜な夜な人々が集まり怪談話をする「百物語」という遊びが流行し、怪談話の代表作である「皿屋敷」や「四ッ谷」が、小説や歌舞伎の題材にもなりました。人々の間で、幽霊やお化けといった「怖いもの」に対する関心が高まっていたのです。さらには、庶民の娯楽である浮世絵にも幽霊やお化けが描かれるようになりました。浮世絵師たちはその豊かな想像力で、恐ろしくおどろおどろしい怪異たちの姿を描き出していったのです。本展では、葛飾北斎や歌川広重、豊国、国芳、月岡芳年など、各時代を代表する浮世絵師達が描いた作品を中心に、江戸時代後期から明治時代にかけて描かれた肉筆画もあわせて紹介します。



歌川国芳《相馬の古内裏・滝夜叉姫と大骸骨》

特別展

秋田県誕生150年記念
ルーヴル美術館の銅版画展
9/11(土) — 11/7(日)

数多くの名画を所蔵していることで知られる「ルーヴル美術館」。そのコレクションの中には、グラフィック・アート部門があり、その数は10数万点ともいわれています。中でも、特に歴史が深いのは銅版画「カルコグラフィー」です。ルーヴル美術館のカルコグラフィー室は、ルイ14世の治世下起こった重要な出来事を世間に広めるために「王の版画原版収集室」として設立されました。その後「王立絵画彫刻アカデミー」コレクションと統合し、1797年に「国立カルコグラフィー室」コレクションが誕生しました。20世紀に入ると現代作家による新作も加わり、カルコグラフィー室はさらに充実、拡大し続けています。

本展では、ルーヴル美術館カルコグラフィー室が所蔵する貴重な原版の中から、日本での特別公開のために、当時の版を用いて刷られた銅版画コレクションを紹介します。



レオナルド・ダ・ヴィンチ
「モナ・リザ」

特別展

生誕120年
木村伊兵衛回顧展
11/13(土) — 1/23(日)

※休館日 12月31日(金) — 1月2日(日)

日本の写真の歴史に大きな足跡を残した写真家・木村伊兵衛(1901~1974年)。昭和初期に実用化がはじまったばかりの小型カメラ(ライカ)に写真表現の可能性をいち早く見出し、雑誌『光画』に発表した東京の下町のスナップショットや「ライカによる文芸家肖像写真展」で頭角を現しました。従来にはまった肖像ではなく、被写体の一瞬の表情の変化を捉える独自のスタイルを確立し、「ライカ使いの名手」として活躍。2021年は木村の生誕から120年にあたり、本展はその節目を記念して開催する回顧展です。木村の視点から捉えられた写真は、被写体の息づかいを感じさせるとともに、見る人に親しみと深い感銘を与えます。本展では、木村の本領である肖像や舞台写真、戦後の滞欧作品などのほか、東京の下町や秋田、沖縄といった日本の地方に取材した作品を紹介し、様々な事物を対象に多くの傑作を残した木村の仕事を回顧します。



木村伊兵衛《大曲市内小友》

県民ギャラリー
特別展

ミニチュアライフ展

MINIATURE LIFE展
～ 田中達也 見立ての世界～
7/16(土) — 8/29(日)

クロワッサンが青空に浮かぶ雲に、ブロッコリーが大きな木に、プリンが南の島に…。ミニチュア写真家・見立て作家の田中達也は、日常のものを題材にして見立てた写真作品を精力的に制作しています。その世界は、思わずくすくすと笑ってしまったり、さすが!と唸ってしまうようなものばかり。展覧会では代表作約100点を展示するほか、実物のミニチュア作品もご覧いただけます。



田中達也《新パン線》©Tatsuya Tanaka

企画展

平野政吉コレクション
旅と絵画

1/29(土) — 4/3(日)

※休館日 3月14日(月) — 3月23日(水)